

履修免除試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

次の(設例)を読んで、問(1)、(2)に答えなさい。

(設例)

- 1 警察官は、覚せい剤密売の前科のあるXに対する覚せい剤取締法違反被疑事件について、Xの自宅マンション202号室を捜索場所とする捜索差押許可状(差し押さえるべき物として、覚せい剤、注射器、携帯電話などの記載がある。)の発付を受けて、上記202号室の捜索に赴いたところ、玄関が施錠されており、ドアをロックしても誰も出てこないで、証拠の隠滅をおそれ、①マンション管理人から合鍵を借り受けて、ドアを開錠した。

室内にはXとその妻Yが在室しており、警察官は、Xに対して、上記許可状を示して捜索を始めたが、Yがそわそわした様子で、急ぎ外出しようとしたので、これを引き止めた上、同行した女性警察官立会いの下、②Yの上着の内ポケットに手を差し入れて、ポケット内を捜索したところ、ビニール袋入りの覚せい剤約2グラムが発見された。そこで、警察官は、X及びYを覚せい剤取締法違反罪(覚せい剤の共同所持)により現行犯逮捕した上、これを差し押さえた。

- 2 Xには、上記のほか、コンビニエンス・ストアから現金を強奪した余罪があり、Xは、上記覚せい剤取締法違反罪と強盗罪により起訴された。

強盗被害にあったコンビニエンス・ストアの店員甲の公判廷における供述は、次のとおりである。

検察官：被告人は、店に入ってきてから、どうしましたか。

甲：しばらく雑誌コーナーで雑誌を見ていましたが、他の客がいなくなると間もなく、持っていた鞆から包丁を取り出しながら、急ぎ足で、レジにいた私の方に向かってきて、私の胸の辺りにその包丁を突きつけ、③「レジの札を全部出せ。騒ぐと殺すぞ。」とドスの効いた声で言いました。

検察官：それで、証人はどうしましたか。

甲：私は、抵抗すると包丁で胸を刺されると思って、怖くて仕方がなかったので、レジスターを開けて、中から1万円札、5千円札、千円札をすべて出して、被告人に差し出したところ、被告人は、私の手から、そのお札を奪い取って、持っていた鞆に入れて、逃げていきました。

検察官：奪われた金額は、いくらだったのですか。

甲：私には細かい金額までは分かりませんが、後で店長がレジスターを確認して計算したとのことで、④店長から、「被害金額は、15万6,000円だった。」と聞きました。

2017年度 同志社大学大学院 司法研究科

履修免除試験問題 法律科目試験

(刑事訴訟法)

---

問(1) (配点: 50点)

下線部①及び下線部②の行為の適法性について論じよ。

問(2) (配点: 50点)

下線部③及び下線部④の甲の供述に対し、弁護人が異議を述べた場合に、これらを証拠とすることができるか。想定される要証事実を検討して論じよ。